【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和5年3月10日(2023.3.10)

【公開番号】特開2021-141266(P2021-141266A)
【公開日】令和3年9月16日(2021.9.16)
【年通号数】公開・登録公報2021-044
【出願番号】特願2020-39603(P2020-39603)
【国際特許分類】
*Ｈ０１Ｓ　5/042(2006.01)*
*Ｈ０１Ｓ　5/343(2006.01)*
*Ｈ０１Ｓ　5/10(2021.01)*
*Ｇ０３Ｂ 21/00(2006.01)*
*Ｇ０３Ｂ 21/14(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｓ　5/042６１０
Ｈ０１Ｓ　5/343６１０
Ｈ０１Ｓ　5/10　　ＺＮＭ
Ｇ０３Ｂ 21/00　　Ｄ
Ｇ０３Ｂ 21/14　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和5年3月2日(2023.3.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
電極５０は、バッファー層２２上に設けられている。バッファー層２２は、電極５０とオーミックコンタクトしていてもよい。電極５０は、第１半導体層３２と電気的に接続されている。図示の例では、電極５０は、バッファー層２２を介して、第１半導体層３２と電気的に接続されている。電極５０は、発光層３４に電流を注入するための一方の電極である。すなわち、発光装置１００では、電極５０と第３半導体層３８によって、発光層３４に電流を注入する。電極５０としては、例えば、バッファー層２２側から、Ｃｒ層、Ｎｉ層、Ａｕ層の順序で積層したものなどを用いる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８７】
発光装置６００では、発光層３４と第２電極７０との間に、第３半導体層３８が設けられている。そのため、例えば、発光層３４と第２電極７０との間に、第３半導体層３８が設けられていない場合と比べて、第２電極７０を発光層３４から遠ざけることができる。したがって、発光装置６００では、柱状部３０間を伝搬する光の第２電極７０への漏れを低減でき、柱状部３０間を伝搬する光の損失を低減できる。